

編集後記

朝夕はまだまだかなり冷えますが陽ざしは春らしくなって参りました。皆様の御協力により平成5年度の水辺空間に関する調査研究の成果であります「リバーフロント研究所報告第5号」が発刊でき安堵しています。

この研究所報告が皆様のお手元に届く頃は、気持ちも新たに新年度の仕事に取り掛かられていることと思います。

本号の巻頭には、(財)リバーフロント整備センター相談役 近藤 徹氏の「治水技術に関する今日的課題」と題する寄稿文を掲載しています。

論文として、高規格堤防に係わる「高規格堤防の盛土材料調達システムに関する研究」、由良川ふるさとの川整備計画に関する研究、都市河川に係わる「都市の中の小河川の将来像の考え方」、多自然型川づくりに係わる「多自然型川づくりへの取り組み(その2)」など21編、バルト三国の水辺空間整備と題した海外出張報告1編を掲載しております。

このように、様々なテーマの研究報告を掲載しましたが、この研究所報告が皆様方のお役に立てば幸いかと思います。

最後になりましたが、本研究報告の発刊に当たり、年度末のお忙しい中執筆いただいたセンター職員の方々にこの機会をおかりいたしまして、厚くお礼申し上げます。

編集担当	研究第三部	横山	武
	研究第三部	上野	久